

和田公民館だより 令和3年8月

わだつみ



☎:28-8396 FAX:28-8346

E-mail wadaco@chukai.ne.jp



和田公民館ホームページ QRコード
ホームページから最新の情報をご覧いただけます。

和田町人口動向 (R3.6.30 現在)

男:1,171(+4) 女:1,293(+6) 計:2,464 (+10)
世帯数 1,138 (+4)

8月のおもな行事予定

日	曜日	行 事
3	火	第4回わだつみ塾・教養講座 13:30~ 延期
4	水	保健師の「出張!なんでも健康相談」 9:30~11:30
10	火	よなGO-GO体操 10:30~、20:00~ 中止
25	水	第5回わだつみ塾・家庭教育講座 13:30~

和田地区環境をよくする会からのお知らせ

川さらえ 9月12日(日) 8:00~
雨天決行 ご協力よろしくお願いいたします。

和田町青空市場中止のお知らせ

和田公民館広場で、7月24日(土)から7回開催を予定しておりました青空市場ですが、新型コロナウイルス感染症拡大をうけ、すべて中止とさせていただきます。

1区・平井一隆さんから額一式をご寄贈いただきました。
どうもありがとうございました。

鳥取県版新型コロナ警報の「特別警報」発令中は、公民館主催事業は中止又は延期となりますのでご了承ください。

公民館大学講座 わだつみ塾

~第2回健康講座~

「高齢者の目の病気と自宅でできるケア」

6月23日(水) 松井眼科院長の松井博美氏をお迎えして、健康講座を開催しました。

白内障や緑内障など、目の病気や実際の治療について、写真と動画で分かりやすく説明していただきました。身近な内容で、皆さん熱心に耳を傾けておられました。



~第3回歴史講座~ 「Roots 弓浜半島物語」

7月16日(金) 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー理事長の石村隆男氏をお迎えして歴史講座を開催しました。



なぜ弓浜半島は美しい弧を描くのか、という視点で、遥か1万年前からの地形の変動と、人々の歴史をたどる雄大なお話に、皆さん引き込まれておられました。

学習講座 AED 講習

7月15日(木) 保健推進員会と共催で、境港消防署弓浜出張所の救命救急士の方を講師にお迎えして、救命入門コースを開催しました。皆さん、実技にも積極的に取り組み、質問も相次ぎ、中身の濃い学習講座となりました。



~新刊図書のお知らせ~

『小説8050』 著：林真理子

『なんで家族を続けるの』

著：内田也哉子・中野信子

『「低度」外国人材』 著：安田峰俊

『ふたり風にならないかい』 著：はらだとしこ

『さんいんキラリ2021別冊』 蕎麦を極める

わだつみ塾のお知らせ

第4回教養講座「愉快的パイロット人生」

日 時：~~8月3日(火) 13:30~15:00~~延期

場 所：和田公民館

講 師：松本 眞二 氏

第5回家庭教育講座

「怒りやイライラと上手につきあいましょう」

日 時：8月25日(水) 13:30~15:00

場 所：和田公民館

講 師：アンガーマネジメントファシリテーター

田中 朗博 氏



あなたのまちの保健師だより

こんにちは！ 保健師の林です。

3回目となる今回は、熱中症について。

コロナ禍で生活は大きく変わりましたが、その弊害の一つにみなさんの体が熱中症になりやすくなっていることがあげられます。

人は呼吸の際、冷たい空気を取り込み、温かい空気を出すことによって体から熱を放出しています。

マスクを着用すると、マスクで温められた外気を吸い込むため体が冷やされず、体に熱がこもる原因の1つとなります。

また、家にいる時間が長くなり動かなくなることで筋肉量は減少します。筋肉には水分を備蓄する機能もあるため、筋肉量減少によって体内の水分量が減ってしまう可能性もあります。普段から運動量の少ない方はより注意が必要になります。

対策として、意識してこまめな水分補給を心がけたり、無理をせずエアコンや扇風機など適切に使用して身の回りの環境を涼しく保つことはもちろん大切です。

さらに、家の中や外に出た時などマスクを外すことが出来る環境ではこまめにマスクを外すことや、涼しい場所や時間帯にストレッチやウォーキングを行うなど筋力を落とさない心がけも重要です！



米子市では、昨年度延期になった令和3年成人式を10月10日（日）に、令和4年成人式を令和4年1月3日（月）にそれぞれ行います。

昨年度延期になった令和3年成人式

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■とき
10月10日（日）午後2時～3時30分 ■ところ
米子コンベンションセンター ■対象者
平成12年4月2日～平成13年4月1日に生まれた方 ■案内状の発送
昨年の11月1日に米子市に住民票があった対象者へあらためて8月下旬に郵送します。
※9月に入っても案内状が届かない場合は、お問い合わせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ■次の方は申請しないと案内状が届きません ●申請が必要な方 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の11月2日以降に米子市に転入した方 ・市外在住の米子市出身の方 ●申請方法
市ホームページから電子申請サービスへアクセスし、住所や氏名などを入力。 ●申請期限 9月10日（金） ●注意
延期前に申請されていた方も、あらためて申請が必要です。 |
|---|--|



令和4年成人式

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■とき
令和4年1月3日（月）午後2時～3時30分 ■ところ
米子コンベンションセンター ■対象者
平成13年4月2日～平成14年4月1日に生まれた方 ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・成人式の案内状は、12月上旬までに発送予定です。 ・出席予定で申請が必要な方は11月2日以降に電子申請サービスにより申請が必要です。くわしくは、広報よなご11月号でお知らせします。 ■実行委員会スタッフの募集
「人生の晴れ舞台を忘れがたいものにしたい」と思っている新成人の方をお待ちしています。成人式当日のみ参加される方であっても、Zoomなどにより参加できます。
・募集期限 8月31日（火） | <ul style="list-style-type: none"> ・応募方法
住所、氏名、電話番号を明記のうえ、郵送、FAX、Eメールなどでご応募ください。 ■記念感想文の募集
新成人として感じることや思いをお送りください。入賞品や参加賞も用意しています。
・作文タイトルの例
「二十歳になって」、「感謝の気持ち」、「私の夢」、「米子市民として」など ・字数 400字詰め原稿用紙3枚程度まで ・応募期限 10月29日（金）必着 ・応募方法
住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記し、郵送かEメールで提出 ・応募資格
令和4年成人式の対象者で、当日の式典に参加可能な方。
※応募があった感想文の一部を、広報よなごやホームページで紹介します。 |
|---|--|

お申込み・お問い合わせ先
〒683-8686 米子市加茂町1丁目1番地 米子市役所4階
米子市教育委員会事務局生涯学習課生涯学習担当
TEL (0859) 23-5442～5444 FAX (0859) 23-5568
E-mail shogaku@city.yonago.lg.jp

子育てサークル どれみふぁくらぶ♪

※8月4日（水）10:30～ 中止

水遊び（於：和田公民館）
雨天の場合は室内遊び

※8月18日（水）10:30～

室内遊び（於：弓ヶ浜支援センター）
お問い合わせは公民館（28-8396）まで



訂正とお詫び

館報119号2ページに掲載してある吉田みつ様は保健推進委員会会長ではなく、食生活改善推進委員会会長でした。訂正してお詫び申し上げます。

修学旅行で WeLove 山陰

6月29日・30日、1泊2日で修学旅行に行ってきました。例年は、広島県を訪れて平和学習を行っていましたが、県外の訪問に不安があるため、宿泊先を皆生温泉とし、鳥取砂丘、浦富海岸、出雲大社、松江城など山陰各地を巡る行程に変更しました。また、山陰のキャンペーンを活用して、修学旅行にかかる費用を抑えることができました。

1日目の行程は、浦富海岸、鳥取砂丘砂の美術館、鳥取砂丘でした。浦富海岸では、山陰海岸国立公園の中の島々の間をぬうように巡る遊覧船に乗り、迫力ある岩々を間近で鑑賞しました。多少の波もあり大きく揺れる遊覧船は、まるでジェットコースターのようでした。途中、漁師さんや海女さんと出会う



と手を振り返してくれたり、船長さんのガイドが聞けたり、楽しく遊覧することができました。砂の美術館では、崩れていく砂で造ったものとは思えないほど、精巧な出来映えや大きさに児童は圧倒されていました。そして、鳥取県の代名詞とも言える「砂丘」。広大な砂丘で、暑ければ熱中症を心配するところですが、この日は小雨模様だったため、熱中症の心配もなく、砂まみれになりながらも馬の背の斜面を転げ落ちるように何往復も上り下りしている児童の姿を見ていると、小学校生活で一度しかない最大の行事を十分に楽しんでいる様子が伺えました。

宿泊先は、皆生温泉「松濤園」でした。フロアを貸し切り、一部屋には通常の半分の人数、食事会場には大きな部屋を用意していただき、一人一人の間隔を空け、すべて前の向きと感染症対策も十分に配慮していただきました。

2日目は松江・出雲方面です。平日のためか、コロナ禍によるものかはわかりませんが、どこも人は少なかったです。印象に残ったのは、出雲大社で出会った観光客は、鳥取県の高校や中学校の生徒ばかりだったことでしょうか？修学旅行先に島根県を選んだ学校が多かったようです。

旅行後の児童の感想は、「ふるさと山陰」の魅力を見ることができたことはもちろんですが、バス、旅行



先、宿舎の中で友達と話したことなどが思い出に残ったようです。コロナ禍の中で、さまざまな学校行事が縮小されたり、中止になったりしていますが、友達と同じ時間や体験を共有するという「あたりまえ」のことが大切だと感じた旅行でした。